（十日夕刊）

休刊　大祭日　第一　第三日曜
定價　一ヶ月　二錢　郵税　六十錢　十五錢
廣告料　壹行六十錢指定廿錢省
發行兼編輯人　福島縣平町田町十六番地　遠沼龍耗
發行所　磐城新聞社　電話五六四番

# 現代童謡詩壇の傾向

立正大學　加藤輝雄

## 一

詩人佐藤惣之助氏に逢つた時の話であるが、佐藤氏に言はせると詩壇は五年目ごとに精算されるとのことである、これは味ふべきことである。詩壇のみならず、言葉で、詩壇でもこの頃では一つの傾向が、五年以上たつたもたれるといふことは極めて稀である。一時は文壇の聲望を一人でうばつた感があつた新興藝術派の文學も、も早凋落のこゑを耳にするやうになつた。

詩壇にあつても、春山行夫や竹中久七君達が熱心に唱導して、つひに詩壇の中心にもちきたらしたシュール・レアリズム（超現實主義）も、その生命僅に二歳を出でずいづれにか斷晦してしまひさうな傾勢にある、次にとつてかはるべき詩壇の主義主張なるものは未だ出てこないが、それにしても二年もたないうちに一つの主義が行きづまり、亡びてゆくことは何にしてもあはたゞしい限りと言はねばならない。

が、これらのあはたゞしい文壇詩壇の變遷にくらべて、童謡詩壇はさ程に急激な變遷を見ない、それは、たとへば佐藤實のやうな、すばらしい素質にめぐまれた童謡詩人がその仕事なかばで夭逝したことなどはあつた。

童謡が藝術としての位置を文壇につくらうとしてより今にいたるまではその根底に言はせると詩壇は五年目づけに忙殺され異論をたてるひまはなかつたのであるそれは丁度、一つの社會組織がほろびて次の社會組織が生れると、しばらくの間は太平かつゞくといつたやうな、歴史の事情と同じで、童謡詩だんも早その革生期の仕事を終へて次の飛躍にうつらうとしてゐることは否みがたい事實である、童謡詩だんの地ならしと言ふべき、童ようが一つの藝術であり、外の詩や小説などと同一列にたかれる可きであるといふ、啓蒙運動が既にある程度の効果をおさめた今日、そこにまぐるしい、變革はなかつたと見て、大過なからう。

だが、童謡詩だんも早その革生期の仕事を終へて次の飛躍にうつらうとしてゐることは否みがたい事實である、童謡詩だんの地ならしと言ふべき、童ようが一つの藝術であり、外の詩や小説などと同一列にたかれる可きであるといふ、啓蒙運動が既にある程度の効果をおさめた今日、そこに

それは、個々の童謡詩人について見るならば幾多のことはあつたらう、たとへば佐藤實のやうな、すばらしい素質にめぐまれた童謡詩人がその仕事なかばで夭逝したことなどはあつた。

外の文だんでみるやうなめざましい根強い根底をたいた飛躍が行はれるのは當然である。

では次に、どういふ飛躍が行はれるのであらうか。

—（今月今日）—

△大山元帥薨ず。時に内大臣たり日露戰爭總司令長官として勲功甚大なり以て國葬さる（大正五）△

## 淺草

島田忠夫

あかるく公孫樹黄落すいだだきし神くじ擴けつつ
外に出づれば
雨あとのぬかるみ道に板敷きて布賣りひさぐこゑ
やかなしき
狹苦しき館にひしめき合ふ中にれびうを觀ると瓜
だちてゐる
池はだのベンチにありて衣脱ぎしをとこひたぶる
に虱とり始む
都べに出でて住みねと云ひおこすかのおとめ子は
思ひなからむ
みちのくの磐城の國ゆ着けて來し二重廻は暑くて
ならず
はるゝ如くひた走る地下電車のあかる過ぎたる
白燈さびしさ

—『コレ待て百姓ッ』聲をかけ

『冠り物をなせ取らぬ』—

—『ハヽアに前は城内のお武家か』—『不埒な奴だに武家か』—『腹ア立つた田の畔だ、成程天下の

らんとならば云つて聞かせる此處は天下の往來ではない百姓が田に通ふために作

四五日も經ち田植も濟んで百姓は稍々小暇を得た時分

武家なら許してやるが、此際吾妻嵐などにかせなど引かぬ様善戰健闘至

だが、百姓の田の畔を通るなら此方で冠り物を取らぬ様善戰健闘至

## 赤鞘安兵衛

東京　桃川燕二演
村田月光畫

（二三）

水清ければ魚住まず、人廉潔なれば交はり薄し、斯様な人物だから御家中に朋友が一向ございません、併したで食ふ虫も好き無好き

で此の次郎太夫近在の養源寺と云ふ寺の和尚と仲が好い城中に友達が無いから非番なぞには此の養源寺へ出て來て遊ぶ、和尚と次郎太夫とは丁度合碁で碁を打つては樂しんで歸る、折しも五月初旬のことで、今日も養源寺へ赴いて碁を圍まうと笛卷の大小を横たへ一文字形の笠を冠つて田のあぜ道をノンリ〳〵とやつて來ました、五月の初めは百姓の大晦日で田植に忙がしい、女共は赤い襷を掛け笠を冠つて田植唄を歌たつしやるな、今百姓は田いながら植て居ります、向ふの方から年の頃二十五六の違しい骨組の若者スタ〳〵と來た、次郎太夫と擦れ違つて二足三足行き過ぎる—

—『コレ待て百姓ッ』聲をかけ

—『ハヽアに前は城内のお武家か』—『不埒な奴だに武家か』—『腹ア立つた田の畔だ、成程天下の

—『冠り物をなせ取らぬ』—

—『ハヽアに前は城内のお武家か』—『不埒な奴だに武家か』—『腹ア立つた田の畔だ、成程天下の

# 今日石城の五縣議が 失業防止に關する件 緊急提案として

## 地方の根本的救濟策として 今後の成り行き刮目さる

炭況の不振依然として今後尚ほこの狀態を持續するが如き事あらば九州北海道炭に比し頗る不利な立場に置かれてある常磐各炭礦は遠からずして潰滅の悲運に陷り隨つて炭礦の恩惠に負ふ處絶大なる地方一圓の被る影響が如何に深刻なるものあらうかとは從來餘りに多く世人から憂慮され而して云ひ古された問題ではあるが更に數字的根據に徴しその間の推移を顧ると常磐炭界の前途に對する悲觀が不幸杞憂に終らぬであらう事が首肯される、卽ち地方に於ける刻下の大問題として本郡選出縣會議員鷲淸一、古川傳一、若松美三、山崎吉平、鈴木辰三郎の五氏は今十日の縣會に於いて緊急動議として炭礦問題を內容とする『失業防止に關する件』なる建議案を提出し鈴木縣議之れが說明の任に當つて極方之れが匡救の目的を達成すべく敢然として起つた、時節柄成り行きこそ刮目に値するものがある

# 出炭が減少して 反對に運賃は上る

## 他方面と全然逆行して 惠まれぬ地方炭界

先づ全國炭界に對する大數觀念として大正十年以來の以上であつた若松橫濱間の推移を數字的に檢覈すると

| | 大正十年 | 昭和四年 |
|---|---|---|
| | 單位千噸 | |
| 全國 | 三六、二一〇 | 三三、二二七 |
| 常磐 | 二、九三 | 二、八五九 |

で昭和四年度の全國出炭高は大正十年のそれに比し實に三割强の激增を示してゐるに反し常磐炭は却つて一分の減を占してゐるばかりか價格の高低と絶對的因果關係を有する運賃に於いて生じてゐる

も大正十年當時噸當り二圓も海運賃が現在では僅に七十錢に低下したるに對し常磐炭界の輸送關係たる鐵道運賃は大正七八年の好況當時に於いてすら一噸二圓五十錢を出でなかつたものか大正十年中一躍現在の三圓に値上げされた儘となつてゐるので九州、北海道炭と常磐炭との釣り合ひは之亦行年度の新契約に於ても若干の値下を行はるではないかなど目下頻りに疑心暗鬼を生じつゝある有樣である

# 當然生ずる 失業者

## 寒心すべき數字 前記の如き販路の縮少は必

前記九州宇部北海道炭の壓迫は單に運賃關係による販路の蠶食のみに止まらず更に價格の方面にも突風的變革を來して

（切込み炭一噸）

| | | |
|---|---|---|
| 大正十年 | 九、〇〇四 | |
| 昭和四年 | 七、〇〇〇 | |
| 現在 | 五、八〇〇 | |

と云ふが如く常磐炭界最重要の顧客たる鐵道納炭は大正十年の運賃値下げ以來全然之れと逆行して比年低下しつゝあるのみならず明六年度の新契約に於ても若干の値下を行はるではないかなど目下頻りに疑心暗鬼を生じつゝある有樣である

# 値下に脅かさる

## 最近の地方各炭礦

前記の如き販路の縮少は必然的結果として勞働者の減小を餘儀なくさるゝに至り地方炭況の頽廢眞つ最中と云ふべき昨四年六月に比してさい從業者一萬七千四百人が現在では其の約六割に過ぎざる一萬四百九十人に激減し既往一年間に於て整車に乘つた腕白盛りの十二、三歲位の小學生二人連れのつけに、心からなる敬意を表し、山崎吉平、鈴木辰三郎の五氏は今十日の縣會に於いて緊急動議として炭礦問題を內容とする『失業防止に關する件』なる建議案を提出し鈴木縣議之れが說明の任に當つて極方之れが匡救の目的を達成すべく敢然として起つた、時節柄成り行きこそ刮目に値するものがある

業者は實に六千九百十人こ內、一人は乘るや直ちに健の家族一萬七百三十人と云ふ眞に寒心すべき驚異的の數字を齎すに至つた。卽ちこれが根本的救濟を期するく感心させられた

事は洵に地方吃緊の問題

氣にも着てゐた雨にぬれたマントを脫いで座席についたのには、同行の友諸共全三一年型と自稱するカフエーが澤山ある

◇日頃大人でさへはたの迷惑をも一向頓着せずぬれしたまゝの合羽をまとつて割込んで座するのを苦々しく見ても景氣のよい話はとんとないその筋でも既報の如くこの際不正商人の跋扈を恐れて過般來取締方針に就いて考究中であつたが最近成案を得たが花柳界方面も同樣で景氣のよい三味の音も聞えずその淋れ方は話し

◇○○小學校と答へたか動きを洞察する業者の頭のしカフエー經營者と、そして女給らは勇ましき躍進をつゞける

（權八生）

## 試驗を悞るな

◇僕は理髮試驗制度贊成者の一人であるに何の異論があらうか

◇人間は五体の官能こそ變りないが頭腦において優劣がある、優れる者が劣れる者をテストするに不思議はない試驗制度を恐れる者は自己の技能の足らざるを表明する者である

◇試驗制度は吾等業者の向上の一歩なのだ、吾々は常に試驗制度實行の急を叫んでゐた、そして業務上のことで當局の干涉をさけやうとしてゐた、反對論者はいつまでも當局の干涉を受けたいのか

◇之れを避けんとする者の如きは吾等業者のこの苦境より離脫向上を阻止する町に反對論者の如き盲論者の存在に一驚する、そう云ふのがある故尚は更試驗制度實行の急を要するのだ

（S生）

## 雨合羽の少年

◇二三日前の夜雨降る中ら、改めてマントの身にまなる程目的地で下車してか思つてゐる身分達としては思はず『あなはどこの學校』と尋ねた

◇○○小學校と答へたか

## 寄書 投檢 歡迎

## 女給連の跳躍

◇深刻な不景氣の平町に三一年型と自稱するカフエーが澤山ある

◇世相混沌ローンクを灯の迷惑をも一向頓着せずぬれしたまゝの合羽をまとつて割込んで座するのを苦々しく見ても景氣のよい話はとんとないその筋でも既報の如くこの際不正商人の跋扈を恐れて過般來取締方針に就いて考究中であつたが最近成案を得たが花柳界方面も同樣で景氣のよい三味の音も聞えずその淋れ方は話し

はれぬ時代の推移である、中途半端の二流三流は漸次淘汰せられ、十錢酒式食堂か然らずんば資本化せられた少數のカフエーの繁榮をみることは當然かも知れない

◇高價なビクターが奏でるところ白惡の圓柱裸体畫の陳列、毎夜移動するカフエー放浪者相手に媚態を演ずる彼女らもチヨ〳〵の何割かは家に仕送るであらうと

かうした景氣よいカフエーころの一つのビヂネスに過ぎない、かくてけんを競ひ鞘を爭ひ斯界混戰時代に處んでゐた、そして業務上の

# 食ひはぐれない 師範二部が最多

## 明春磐中を出る 卒業生志望調べ

磐中來春卒業生の志望を聞くに卒業生は百九十一名であるが之等の中には始めから事情を打ち明けて同情にすがらんとする者もたまには始めから

志望は

| | | | |
|---|---|---|---|
| 實業四三 | 高等校一四 | | |
| 商工一三 | 師範二部二二 | | |
| 醫科九 | 商船五 | 高商四 | |
| 藥專五 | 外語四 | 陸軍經理三 | |

# 平署の 歲末警戒

## その手筈成る

商店街は歲末氣分に忙殺されてゐる毎度のに定まりの文句であるが今年は例年に

# 凩くも氣遣はるゝ 次期の酒造稅

## 休廢業が續出し 釀造見込も五千石減

打續く不況とそれに伴ふ需が付かないため釀造見込石數激減の板挾みに遇ひ業界數も未だ判然せず遂に最近不振に陷りつゝある石城郡に至つては平稅務署管內五下酒造家は當面の切拔策に十名の中廢業二名休業八名就いて全く頭痛鉢卷の態で目下の仕込み期に直面しな

# 村會議員 猫を仰ぐ

## 內鄉村宮字竹の內三四現村會議員米穀商平田良三（五三）は八日午前十一時三十分頃自宅二階六疊間で猫

イラズを多量に嚥下自殺を企てたが死に切れず苦悶中家人に發見され附近の島田醫師の手當を受け生命を取り止めた、原因は目下平署で取調中であるが近來の不景氣から事業思はしからず掛け先が取たたぬ反面借財の積るを苦にし發作的逆上の結果ではないかと

# 警察や紹介所から 今度は寺院教會へ

## 一泊一食を求むる 浮浪勞働者の群れ

最近めつきり北海道歸りの季節勞働者が群をなして警察や紹介所などをなやます旨昨紙の通りであるが之等各地の冷遇に馴れ切つて非常に狡猾になり紹介所や警察で優遇してくれぬ關係から今度は寺院、教會等に入りこんで脅迫的に金品を强請る者が多く平町の日本基督教會、救世軍、バプテスト教會、天理教會其他各寺院には連日數名の失業者が押し寄せては乞食同樣の物乞ひ方をして居りこれ等

# 九十歲の母

## 平署へ捜索願

田村郡要田村笹山仲之內五六篤太郎繼母大久保ッヤ（○○は明治三十二年夫婦仲惡

# 電話賣り物

## 姓名在社

田タニ方抱酌婦平町六丁目生れ吉田春江（五）は本年一

# 高久病院

院長 高久忠
平町田町電五一三

# 赤井嵐

先達ん出したのを見末廣の宴會で及ぶも元氣衰へ

○△姐さんが自然薯の處方をたとして騷がれた樣だがアタシなんかもつと良いのがあるわよ。と山形家の夢二が勇敢につ

亭主と別居し共後行明となつたので篤太郎は道上捨ておけぬので八方捜田が再三春江を女郎にする香として行と稱して訪れた事實があいてゐたがから或は兩人共謀の上自宅聞くにツヤにかくまつて置くか或は平宛に毎朝一つまみの

ると▲糯米、黑胡摩大豆、蓮の實の各々同分量を混じ煎つて粉末になし之れに山藥（自然薯）の粉末—藥種屋加で買つてゐる

と砂糖を少々つたそうな——？

月二十九日埼玉縣足立郡平木町周旋業武田定吉の周旋で前借百五十圓で前記に住込んだのであるが去月二十日無斷家出し行方捜査中で

# 十二月十三日ヨリ 十九日マデ

## 御婚禮用品特賣

最新柄を豐富に取揃へて 江戸褄 丸帶・御紋付・袴
江戸褄下着丸帶仕立上リ 松五十五圓・竹八十圓 梅百二十圓

## 七五三祝着特賣

尺三丸帶 錦紗友禪・富士絹友仙・モスリン友仙
各種

三井の超特價品

着尺モス新柄 二圓五十錢
友仙モス上生地一丈物 七十五錢
新モス友仙半反 三十五錢
三井の特製足袋壹萬足限リ
白キラコ一足 十錢
絹 天一足 十五錢
黑 朱子 一足 二十錢

甲斐羽裏絹一圓五十錢
レイヨン羽裏 五十錢
白時ネール一丈物 五十錢
新柄ネール一丈物 八十錢

平町 三井吳服店
電話三八番二八四番

# 第二回長期裁縫講習會

△科目（裁縫ヲ主ト 希望ニヨリ 作法 料理法 編物 生花 等無料ニテ教授ス）
△會費 一ケ月金壹圓
△會場 陽女學校
△服裝 隨意
△午齡 制限アリマセン
△入會 何時デモ入會出來マス
△特典 講習六ケ月終了者ニハ證書ヲ差上ゲマス

石、城郡平町
平陽女學校

尙本校內に寄宿の便もあり但し食費一日二十七錢で頗る底廉であります

# 皆樣の

## スピードの御用命は 電話三四三番へ セダン型です

何卒御用命を願ひます
平驛前 昭和タクシー

平新川町十九
木村病院
科、婦人科 院長 木村寅次郎
電話一六四 女醫 木村コウ
內臟外科整形外科 醫學士 松永憲一
藥局 東京藥學士 萩原駿二

耳鼻咽喉科專門
平町田町七一
合津醫院
電話九五九
（入院應需）